

Case 6

キッチンカーで学ぶ！

健康志向の新しいスタジアムグルメ開発

現代生活学部 食物学科

活動の概要

①活動名：キッチンカーで学ぶ！健康志向の新しいスタジアムグルメ開発

②実施期間：2024年7月～12月

③実施場所：町田市スポーツイベント・学園祭

④実施者：東京家政学院大学 栄養学研究室 岩本直樹准教授・ゼミ生

今回の活動では、町田市のキッチンカー運営会社「ニコニコキッチンカー」さんにご協力いただき、野菜を手軽に摂れるスタジアムグルメを学生が考案し、実際に販売する機会をいただきました。

スポーツ観戦時のフードはボリューム重視のメニューが多く、女性や親子連れ向けの健康的な軽食が少ない点が課題とされていました。そこで、「観戦しながら片手で食べられる」「野菜を手軽に摂れる」「子どもにも食べやすい」という視点から、新しい健康志向のスタジアムグルメを開発しました。

ニコニコキッチンカーさんには、実際の販売の場を提供していただき、キッチンカーでの販売のノウハウや運営の流れを学ぶ貴重な機会となりました。

活動の詳細

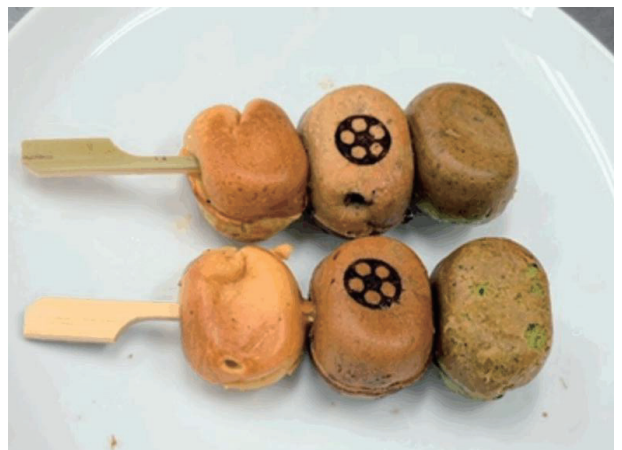
活動は以下のステップで進めました。

①「ヘルシースタジアムグルメのコンセプト決定」

- ・若年層女性・親子連れをターゲットに設定。
- ・スポーツ観戦しながらでも手軽に食べられることを重視。
- ・野菜の摂取を促すため、甘さを活かしたスイーツ系メニューを開発。

②「試作と改良」

- ・さつまいも・ほうれん草・ブルーベリーを使った野菜入りベビーカステラを考案。
- ・ホットケーキミックスを使用し、野菜の風味を活かしつつ、子どもでも食べやすい味に調整。
- ・カステラを串に刺し、食べやすい形状にすることで、スポーツ観戦中でも手軽に食べられる工夫を実施。



考案したスタジアムグルメ商品

③「スポーツイベント・学園祭での販売」

・町田市のスポートイベントで販売

（協力：ニコニコキッチンカー）

・販売数は予定よりも少なかったものの、実際の販売環境や課題を学ぶ機会に。

・学園祭(KVA祭)で販売

・2日間で190本を販売し、販売目標を超える結果に。

・「野菜が苦手な子どもでも食べてくれた」「おやつ感覚で手軽に野菜が摂れる」といったポジティブな意見を多数いただいた。



ニコニコキッチンカー

活動の振り返り

ニコニコキッチンカーさんのご協力のもと、実際の販売を経験することで、商品開発だけでなく「売る」ことの難しさや面白さを学ぶ貴重な機会となりました。

特に、スポーツイベントでの販売では、告知の難しさや販売環境の影響を実感し、学園祭での販売に向けて改善点を見つけることができました。学園祭では、ターゲット層に合わせた販売戦略が功を奏し、予定数を上回る結果となりました。

また、「スポーツ観戦の食事＝高カロリーで重いもの」というイメージがある中、健康志向の軽食を提案することの意義を改めて感じる機会となりました。

一方で、野菜の風味の出し方や見た目の改良、さらに販売機会の拡大が今後の課題として挙げられます。

今後の展望

今回の経験を活かし、今後も地域の方々と連携しながら、以下のような取り組みを検討し、さらに新しい食の形を提案していくことを目指します。

●「地元イベントでの販売機会の拡大」（スポーツイベントだけでなく、マルシェやフェスでの販売を検討）

●「ニコニコキッチンカーさんとの継続的な連携」

（新メニュー開発や販売機会の提供をお願いし、さらに実践的な学びを深める）

●「学内外での販売・普及活動」（学内での定期販売や他大学・企業とのコラボレーションの可能性を探る）

この活動を通じて、食と健康に対する意識を広めるだけでなく、地域と学生と一緒に学び合う場を作っていきたいと考えています。

プロジェクト概要

●パートナー
ニコニコキッチンカー
（東京都町田市）

●担当教員
現代生活学部 食物学科
准教授 岩本直樹
助手 河合彩夏

●学生
現代生活学部 食物学科
4年生 2名

●実施期間
令和6年7月～12月